

中部 だより



中経連事務局員が、担当するエリアでお聴きした、各県の最新トピックや地域特有の情報を紹介するコーナーです。

やまのうち発WAKUWAKUまちづくり!

地獄谷野猿公苑で温泉につかるニホンザル「スノーモンキー」で有名な長野県山ノ内町・湯田中温泉。この町で新たなまちづくりに向けた取り組みが始まっている。



まちづくり

湯田中温泉のメインストリート「かえで通り」一かつては老舗旅館をはじめ多くの店舗が軒を連ね、賑わいを見せていた。しかし、観光客の減少や観光関連産業の担い手不足によりシャッター街と化し、町の再生が急務となっていた。このかえで通りの再生を核として、まちづくりに取り組んでいるのが(株)WAKUWAKUやまのうち(2014年4月設立)である。

当初は資金もノウハウも乏しく、足踏みを余儀なくされたが、2015年8月「ALL信州観光活性化ファンド※」の投資案件第1号に選定され、意欲的な取り組みを始めた。フェーズ1として、休廃業旅館や古民家等のリノベーションを行い、古き良き伝統、デザインを活かした新しいスタイルのおもてなし施設であるビアバー&レストラン「HAKKO」、カフェ&スペース

「CHAMISE」、宿泊施設「AIBIYA」を次々とオープン。インバウンド観光客を対象とした滞在環境を整備した。並行してまちづくり協議会を発足



洋品店を改修し、オープンした「HAKKO」

し、既存事業者との協力体制も構築している。

今後は、情報発信に重点を置き誘客を推進していく予定で、CHAMISEを基点とした徒歩圏内の飲食店等を紹介する周遊マップの作成、多言語対応WEBサイトの整備、海外(特に台湾とオーストラリア)へのWEBマーケティングなどを手がける。

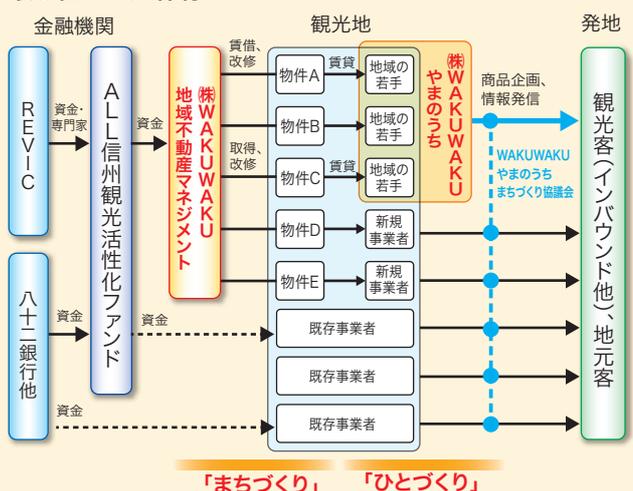
ひとづくり

(株)WAKUWAKUやまのうちでは、まちづくりの視点と地域の将来を担う人材を育てるひとづくりの視点を重視している。代表取締役社長の岡嘉紀氏は、「地元の若手を将来の担い手として育成していくことが必要。起業希望者を当初は正社員として雇用し、資金面、活動面で支援する。成長フェーズに移行した際、安心して独立できる仕組みの構築を目指している」と意気込む。

このプロジェクトの肝は、やる気のある若者をいかに集め、活躍できる舞台を提供できるかにある。その舞台は着々と整いつつあり、地域の創生に志のある若者たちは、ぜひ自ら手をあげ、存分にその能力を発揮してもらいたい。

(長野担当 伊藤 康隆)

取り組みの全体像



※ALL信州観光活性化ファンド: (株)八十二銀行をはじめ長野県内に本店を有する全ての地域金融機関と(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)等が共同で設立。昨年6月には、第2号案件として、スキーリゾートで有名な白馬村の白馬ギャロップ(株)への投資も実行している。

取材協力・画像提供: (株)WAKUWAKUやまのうち、(株)八十二銀行